

「人体解剖と骨のミュージアム」を開設

2013(平成25)年5月

2013(平成25)年5月、歯学部校舎1階に「人体解剖と骨のミュージアム」が開設され、同月2日には香川学長、役員、大学職員が出席するオープニングセレモニーが開催された。同ミュージアムは、人体標本の見学・観察を通じて人体に対する理解を深めることを開設の目的とし、ヒト・動物の骨標本、シリコン包埋器官標本や人体解剖模型など、約330点の貴重な標本が展示されている。

歯学部校舎で同様の機能を担っていた既設の標本室は、狭隘で展示できない標本も多く、入室可能な人数が少ないために、教育プログラムの一環として使用するにも適さなかった。新たに開設されたミュージアムは、高度情報化基盤センター歯学部分室跡地を整備したことで、従来の標本室に比べて床面積が倍に拡大されたため、陳列台や保管庫を増設し、展示室としてより相応しい内

装を備えたものとなった。また、拡大されたスペースに見学用のテーブルとイスを設置することで、より多くの来訪者がじっくりと標本を観察することが可能となり、またセミナーなどの開催も可能となった。加えて、説明用のパネルを多数展示することで内容の充実を図り、学内関係者のみならず学外者の見学にも適したアカデミックな展示施設となっている。

このミュージアムは、外部の医療従事者及び医療系教育機関の教員・学生を対象として予約制で公開するほか、歯学部学生の教育プログラムの一環として使用されている。さらに、学外者の見学の機会として、毎年11月初旬に医療従事者及び医療系教育機関の教員・学生を対象とした「人体解剖標本の展示」を行っており、大いに活用されている。

